外国語科(英語)

言語活動「聞くこと」の指導事項のポイントは何か。

- 1 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ること。

基本的な音声に関する学習内容

- ・ 現代の標準的な発音
- ・ 語と語の連結による音変化
- ・ 語、句、文における基本的な強勢
- ・ 文における基本的なイントネーション
- ・ 文における基本的な区切り

※ 「正しく聞き取ること」とは、強勢、イントネーション、区切りなどに気を付けて音声を的確に聞き分けることである。

- 2 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。

※ 「自然な口調」の英語とは、現代の標準的な発音で正しい強勢、イントネーション、区切りを伴い、適切な速さで話されたり読まれたりする英語のことである。

※ 「情報を正確に聞き取ること」とは、英語を聞き取るとき、音の変化やスピードに対応して事実や出来事などについての必要な情報を正しく理解することである。

- 3 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。

※ 依頼などの話し手からの働き掛けに対する反応の仕方は、場面や状況、聞き手によって様々である。そのため、場面の設定に工夫をしながら幅広く言語活動を行うことが大切である。

(例1) Do you have a pen? という問い掛けに対して

－Yes や No を使って答えること。

－Sure, here it is. などと言いながらペンを差し出すこと。

(例2) Will you open the window? のような問い掛けに対して

－実際に窓を開けるという動作に移したりすること。

4 話し手に聞き返すなどして内容を確認しながら理解すること。

聞き返すときの表現例

Pardon?
I am sorry, but I can't hear you.
Would you please say that again?
Will you speak more slowly?
You mean..., right?
You said..., right?

5 まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。

※ 「まとまりのある英語」とは、一つのテーマに沿って話されたものや内容に一貫性のあるものなどを示している。

(例) スピーチや機内アナウンス、天気予報などの英語。

→ 話し手が伝えたいことや、聞き手として必要な情報を理解できるようになることが必要である。